

噂の「チョコアート」って、どんなお仕事?

オシャレなカフェや結婚式の会場など笑顔が集まるところで最近よく見かけるチョコアート。「好き」がきっかけではじめたチョコアートが、いつのまにかお仕事になっていたという佐藤真理さんにお話を聞きました!



結婚式のウェルカムボードも大好評!カラフルなチョコアートの魅力

「すごい!」「おいしそう!」はじめて見る人は、必ず感想の言葉の最後に「!」がついてしまうほどインパクトは大きいチョコアート。最近では美味しそうなお菓子やスイーツやフルーツが描かれた作品を目にする機会も増えました。そもそもチョコアートって?

「チョコアートといっても小学校で使っていたようなものではなく、クレヨンに近いものです。それを使って、美味しそうにシンプルに描いた絵を「チョコアート」といいます。

日本のイラストにはなかなかないようなカラフルでポップな明るい絵が評判で、カフェやレストランのメニューとして制作することが多いです。

友人の結婚式のウェルカムボードを作ったときも、とてもよろこばれました。チョコアートには、写真とは違ったあたたかさやスペシャル感があるからでしょうね。

そう語るのには、チョコアートサインライターの佐藤真理さん。世界的なチョコアートの第一人者であるモニーク・キャンノンが唯一、日本に開校を許した愛弟子です。佐藤さんがチョコアートと出会ったきっかけは?

「ワーキングホリデーでオーストラリアへ行ったときに、はじめてチョコアートを見て「これだ!」と思いました。チョコアート自体の魅力も大きかったですし、どうせだったらそこで学べないものにとライしようということでモニークのスクールに通いはじめました。

チョコアートのレッスンと向こうでの生活の両立をするにあたって、いちばん大変だったのは経済的なこと。一週間のバイト代が2万5千円、そのうちレッスン料が一日2万円(涙)。おかげさまで、日本でもできないようなバイトをたくさん経験しました。レストランで女性がバイトをするという、「ホールで接客」がスタンダードだと思いましたが、私の場合はなぜか厨房で(笑)。弱気になることもありませんでしたが、

途中で辞めなくてよかったと思いました。なぜって、帰国間際に働いていたお店からチョコアートのうれしい依頼がきましたから!

願いを言葉にしたら現実に! シンプルだけど心に届く

佐藤さんは日本人初のアシスタントとしてモニークさんに採用されたそうですが、決め手はなんだったのでしょうか?

「実は、モニークのアシスタントは現地で決まった人がいたので私が加わる余地はありませんでした。ところがダメもとで「私もアシスタントにしてみたいませんか?」とお願ひしてみたところ、偶然にも今までのアシスタントが肩をこわして来週から長期休暇に入るというタイミングと重なったのです。そして今では、たくさん生徒さんに教える立場になりました。誰でも、どんな願いごとでも、口にしてみるとそれがきっかけで何かが変わるチャンスがあるということ、読者のみなさんにはお伝えしたいですね。



上)今年の1月、銀座ソレイユにて待望の師弟レッスンが実現したときの様子。中)「年に1度はオーストラリア行き、新しい技術を身につけるようにしています」という佐藤さんのあくなき探求心と情熱は、丁寧な指導にも表れていると評判です。

あなたのココが見られています! 誰かに見出されるためのヒント

チャンスを引き寄せる人には共通点がありました! これを意識するだけで、きっと新しい自分がはじまります。

- ・「これがいちばん好き!」と思えるものがあるか
- ・テクニックだけではない、誠実な人柄を感じさせるか
- ・結果を求めずに、うちこめる熱意をもっているか

銀座ソレイユ本店
03-3561-6031
http://www.sun-k.co.jp/
(月~土9:30~17:30)
休日・祝
中央区銀座1-6-2銀座Aビル
※体験クラス、プロフェッショナルコースあり。
詳細はお問い合わせください。
モニークスチョコアート日本校
0426-23-6473
http://www.chalkart.co.jp/
八王子市上野町9-101
※体験レッスンなど各種コースあり。
詳細はお問い合わせください。

Coming at chance!
チョコアートを学んだ先輩たち「その後はどうしてるの?」
佐藤さんのお弟子さんの中には、「地元のレストランでメニュー描きの仕事をしている」人もいれば、「チョコアーティストのグループを作って仕事をしている」(中森美枝さん:every_rose4@yahoo.co.jp)という人たちも。さすが佐藤さんのお弟子さん。行動力あり!

チョコアートの第一人者、モニーク先生からのメッセージ「この娘にかけてみよう!」と私が思ったわけ

私のスクールは、今まで700人もの卒業生がいるわ。そんなに大勢のなかから、なぜ、マリに私の片腕になってもらいたいと思ったのかわかる? その理由は、彼女には誰よりもチョコアートへの情熱があつたからよ。700人もいれば、マリより英語がしゃべれる人も、絵が上手な人もいる。その中で、マリはチョコアートに対する思いや熱意や愛情が私と同じだった。毎日、カタコトの英語を駆使して私にチョコアートへの思いを一生懸命に伝えたり、もともと絵が上手な人よりも努力しているから成長が早かったりというマリの姿を見ていたら、「この娘にやらせよう」と確信したの。マリがはじめた学校は日本で唯一の私のスクールの姉妹校、オーストラリアと日本、離れていてもチョコアートへのスピリットは一緒だと信じられたから実現したことだと思ってるので、私もとてもうれしいわ!

